

平成 2 2 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 1	中原区民総ぐるみスポーツ大会	継続	昭和 5 0 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会		対象者	区内在住の小学生男女及び成年女性		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（					

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>本大会は昭和 5 0 年から続いている歴史のある大会であり、毎年約 1 , 0 0 0 名の区民が参加するイベントとなっている。区民の参加意欲も高く、健康増進ならびに区民相互の親睦を深めることにもつながっている点が評価できる。</p> <p>また、業務委託先である中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会は、町内会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の地元各種団体で構成される団体であり、基本的にはボランティアのため人件費等がほとんどかからず、廉価で大会が運営できている点も評価できる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	スポーツラリーには引き続き法政トマホークスなど地域スポーツ資源を活用し、地域に密着した大会とする。運営については、町内会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の協力を得ながら行っており、今後も同様に協力を得ながら効率的に運営を行う。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 2	中原区体育及びスポーツ振興事業 (区長杯贈呈事業)	継続	平成 2 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	特定の地区に偏らず、区全体で楽しめるスポーツレクリエーションを行なう団体		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（				

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区長杯を配布した一部の団体では、トロフィーを毎年再活用して持ち回り制にするなどの工夫がある。これにより多くの団体に区長杯を贈呈できるようになった。また、1 個あたりの単価を下げるなどして効率的に作成・配布している。</p> <p>区長杯を贈呈したスポーツ大会などでは、区民相互の親睦を深めるとともに大会の活性化を促進することができたことから、おおむね目標は達成できた。</p> <p>区内の特定の地域だけではなく、区全体の大会に対して区長杯を贈呈することで、区長杯事業の目的が地域に浸透してきている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	区長杯は、特定の地域におけるスポーツレクリエーション行事に贈呈するのではなく、区全域における行事に贈呈している。区長杯を贈呈することにより各スポーツ行事を活性化することができ、区長杯に対するニーズは高い。今後も新規に区長杯の贈呈を依頼してくる団体も考えられるので、その際はトロフィーの単価を下げるなどして対応していく。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 3	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」	継続	昭和 48 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」実行委員会		対象者	区内在住の小学生高学年以上の男女		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・事業内容	なし		
目的及び 内容	多くの区民に親しまれている「ランニング」を通じて、健康ランニングの普及と区民の健康増進を図ることを目的とする。 小学生高学年男女 3 k m の部、中学生以上 5 k m の部、中学生以上 1 0 k m の部以上の 3 部門を多摩川ハーフマラソンコースで開催。					
予算額	4 5 0 , 0 0 0 (円)		決算額	4 5 0 , 0 0 0 (円)		不用額 0 (円)
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		大会当日は、6 4 4 名（昨年 6 4 2 名）の区民が参加し、区民の健康増進に資することができた。この大会を目標にしているリピーターも多く、また近年のランニング人気の高まりも受けて、今年度も多くの区民が集まり活気のある大会となった。			
			実施時期 (開催日/回数等)	平成 22 年 11 月 (年 1 回開催)	参加 人数等	6 4 4 名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>昭和 48 年から続いているこの大会は、恒例の大会となっており毎年参加している区民も多く、安全面の観点から、21 年度から参加者を区内在住者限定（在勤者は除く）としたものの、それでもなお参加者数は毎年増加している。</p> <p>とりわけ、近年は健康に対する関心も高く、その中で健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれている「ランニング」を題材としているため、参加者にはこの大会を目標としている人も多い。小学生を含め一般参加者も増えていることから、今後も健康スポーツの発展には重要な事業といえる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	参加者に対してサービス過大という指摘があり、配布物の見直しを行うと同時に、参加者にも何らかの負担を持たせることで受益者負担の考えを導入する。運営についても、協力団体同士での連携に不十分な面があるため、事前及び当日に打合せの機会を今年度以上に用意する。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 4	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	平成22年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート 実行委員会		対象者	中原区内全中学校・高等学校 吹奏楽部、ゲストバンド	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	音楽を通じ、情操豊かで創造性溢れる青少年の育成を図り、校外生活の善導に資するとともに、文化の薫り高いまちづくりを推進することを目的に、区民との協働により、中原区内の全中学校・高等学校吹奏楽部を対象とした吹奏楽コンサートを開催。				
予算額	2,100,000（円）	決算額	1,837,386（円）	不用額	262,614（円）
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		演奏はもちろんのこと、衣装・振付けなどにおいても各校それぞれが個性を活かした演奏を披露し、観客である区民・生徒の家族・音楽ファンの目を楽しませた。とくに、各校有志の生徒による合同演奏では、20周年を記念し「なかはらの歌」を演奏。会場を盛り上げた。		
	(区内6校有志による合同演奏)		当日は、舞台転換・場内整理・入口での案内など、実行委員が生徒に指示をしながら運営をし、演奏者としてコンクール等に参加する機会が多い生徒達に、主催者として地域イベントの運営を体験する社会勉強の機会を提供することができた。		
			実施時期 (開催日/回数等)	11/3（水・祝）	参加 人数等 1,180人

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>参加する生徒にとっては、他校の演奏やゲストバンドの演奏を聞くことが出来る貴重な機会であるとともに、特に合同演奏においては、学年を問わず他校の生徒と演奏を通じてのふれあいがあり、青少年の心身の成長を促進する機会を提供できている。</p> <p>また、本事業は区民にとって気軽に音楽を楽しめるイベントであるとともに、単なる音楽イベントではなく、音楽を通じ地域の青少年の成長する姿を見られるという点が、地域に対し青少年の健全育成を訴え、毎年客席が満席に近くなることから、区として本事業の集客力と必要性を感じる事業である。</p> <p>実行委員と生徒と一緒に運営を行う点も、青少年の健全育成という事業の目的にかなっており、実行委員会の手により社会体験の機会が提供される点で、地域におけるボランティア精神を養う貴重な機会だと評価できる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	現状のまま充実した内容で継続し、企画・運営へのさらなる青少年の参加を図り、青少年が主体となり実施するコンサートへ近づくことで、青少年に対するさらなる体験機会の提供と、ひいては健全育成を推進する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 5	中原区役所コンサート事業	継続	平成 5 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	ランチタイムにクラシックやジャズ等の音楽を気軽に楽しんでもらい、親しまれる区役所を目指すとともに中原区内における音楽のまちづくりを推進する。 開催時には保育ボランティアによる幼児の一時保育を実施し、普段気軽にコンサート会場に足を運べない客層にも幅広く来場を呼びかける。			
予算額	1,897,000 (円)	決算額	1,838,166 (円)	不用額 58,834 (円)
不用の理由				
結果・成果	<div> <div> 【事業実施状況・成果物などの写真等】  <p>区役所コンサート</p> </div> <div> 5/18、6/22、7/17 (中原市民館) 10/21、12/14、2/26 の計 6 回開催。内 1 回は土曜日に中原市民館で実施し、平日に来場できない方にも音楽を楽しんでいただくことができるとともに、区役所事業を知ってもらう機会になった。 毎回 300 名前後の来場者があり、区役所を親しみのある場として捉えてもらうことができている。 また、ランチタイムコンサートとしては、中原区のみで保育を行っており、子育て中の親のリフレッシュの場ともなっている。 </div> </div>			
	実施時期 (開催日/回数等)	5/18、6/22、7/17、 10/21、12/14、2/26 計 6 回	参加 人数等	各 300 名

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区における、「音楽のまち・かわさき」事業として、区民に愛されている事業である。 毎回楽しみにしているリピーターも多いが、初めて来場する方もあり (約 2 割 (アンケート結果により))、多くの区民に本事業が周知されてきている。 子育て世代の多い中原区の特性を活かし、コンサートを保育付きとしている点など評価が高い。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	来客者の声を元にさらに区民の要求に沿ったコンサートを提供できるようにアンケート等を的確に実施していく。新たな観客を増やすため、魅力あるプログラムの展開や、時間、場所の設定、市フランチャイズオーケストラ東京交響楽団の活用を考えるなど、市の「音楽のまちづくり」の一環を担える事業展開を考え、より幅広い区民に提供できるよう進める。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない


区民会議からの主な意見

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 6	In Unity 開催事業	継続	平成 11 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	区 民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	<p>アマチュアバンドやダンスユニットが大舞台で日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じて幅広い年齢層の人々が交流することを目的として区民の手作りによる音楽ライブを開催する。また、それにより「音楽のまち・かわさき」を推進する。</p> <p>また、屋外でカフェの運営とあわせて中原区と関わりのあるミュージシャン等による音楽ライブを開催することで音楽を通じたまちづくりを行う。</p>			
予算額	1,893,000 (円)	決算額	1,852,215 (円)	不用額 40,785 (円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>In Unity2011 当日の様子</p>	<p>In Unity2011 の P R イベントを含めて、音楽をきっかけとした地域の憩いの場や賑わいの創出づくりのため、川崎信用金庫新城駅前支店、新丸子駅前でのオープンカフェを実施した。</p> <p>また、In Unity2011 はホームページの掲載、マスコミへの宣伝、大人の集いで P R、フラッグ・チラシの作成等全てを実行委員が行い、手作りの音楽ライブを開催した。</p>		
	実施時期 (開催日/回数等)	本大会 1 回 オープンカフェ 2 回	参加 人数等	本大会 観覧約 1,000 名 参加 18 団体 オープンカフェ 参加 6 団体

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>In Unity2011 は、12 回目であり、市内でもよく知られた音楽ライブである。ダンスだけでなく歌、ソロによる演奏など、ほとんどの出演者が川崎市内で活躍している地域密着型の音楽ライブであり、そのような音楽ライブを若者中心の委員会が準備から企画、当日までの運営を自主的に行い、開催することができた。市民活動としては珍しい若い世代との協働という意味で有意義である。</p> <p>また、区内の商店街や公共施設の特性を活かしたオープンカフェ等を行うことで、音楽をきっかけとした地域の憩いの場や賑わいを創出するだけでなく、その場に集まった人たちの世代間交流を図り、地域コミュニティの活性化にもつなげることもできた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	より地域に根ざし、世代間交流を図り音楽によるまちづくりを推進するため、In Unity だけでなく屋外でのオープンカフェ等をさらに展開していくことを検討する。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 7	歴史シンポジウム事業	継続	平成 15 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	特定非営利活動法人 日本伝統文化福祉振興協会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（					

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>再開発地域を中心とした大型マンションの新たな住民に対して、中原街道やその他中原区に関わりのある歴史について関心を持ってもらい、郷土意識の醸成につなげることができる地域に密着した事業といえる。</p> <p>鷹狩りの実演は、中原街道時代まつりに併せて実施することで、江戸時代の「将軍の鷹狩り」をイメージさせ、新たに区民になった人々への魅力発信や先人の歴史や街道筋の生い立ちに触れる機会となっている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>講演会については、地元の歴史に関する区民の関心が高く、毎回盛況である。大型マンションや駅に近い市民館を会場としたことで、参加しやすいものとなった。</p> <p>鷹狩りの実演も、普段身近に見ることができないものなので関心が高い。時代まつりと併せた開催とすることで相乗効果を生んでいるが、時代まつり事業との線引きが不明確になってしまっているため主催者との調整が必要である。</p>	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 8	区役所庁舎内飾花事業	継続	平成 11 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会	対象者	来庁者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	中原区役所庁舎内に年間を通じて季節の生け花を展示し、来庁者が親しみやすさを感じられるような区役所の雰囲気作りを行う。			
予算額	300,000 (円)	決算額	300,000 (円)	不用額 0 (円)
不用の理由				
結果・成果	<div>  <p>（区役所 1 階区民課 6 番窓口前）</p> </div> <div> <p>中原区文化協会の華道 5 流派が各々の作品を交代で、月曜日から金曜日まで、区役所 1 階に展示する。</p> <p>毎回質の高い展示がされ、季節によって生ける花の種類や彩りが変わること、区役所を訪れる方々に季節感を与えている。</p> </div>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年 (毎週交代)	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>多くの方々が訪れる区役所 1 階の展示場所に、季節感のある新しい花を毎週生けることは、来庁者に安らぎを与え、区役所の親しみやすい雰囲気作りをすることができる点で有意義である。</p> <p>生け花に精通した中原区文化協会が事業趣旨に賛同し、華道 5 流派により毎回質の高い作品を安定的、継続的に展示している。</p> <p>また、来庁者の中には、花を背景に写真を撮る人も見られるなど、本事業は成果を上げていると考える。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	上記のような成果が見られることから、今後も継続する。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 9	なかはら八百八橋プロジェクト	新規	平成 22 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら八百八橋プロジェクト 中原区役所地域振興課		対象者	区 民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・ 事業内容			
目的及び 内容	区内の重要な歴史資源である八百八橋を区役所敷地内に移設し、中原街道や二ヶ領用水などと絡め、新旧住民に中原の歴史を伝え郷土意識の醸成を図るとともに、区役所敷地内にある移設した八百八橋周辺をミニパーク化し、区役所の存在をより身近に感じてもらうことを目的とする。 平成２２年度の単年度予算であるが、八百八橋の移設を含めた周辺整備工事だけでなく、長期展望を視野に入れた今後の管理運営についても検討していく。					
予算額	１，４７０，０００（円）	決算額	１，４７０，０００（円）	不用額	０（円）	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		定期的にプロジェクト会議を開催し、メンバーの中で多角的視点から協議し充実した提案書を作成することができた。その提案書に基づき、八百八橋の移設、周辺工事を行うことができ、また、年度末には、メンバーと行政職員参加で敷石敷設・植込作業なども実施することもできた。 その他、会議の中で意見が出た樹木足元のウッドチップ養生作業や隣接部にあるオリーブの木の有効活用などを含め、周辺工事完成で終了させない新たな展望についても検討したことの意義は大きい。			
	八百八移設後の区役所中庭風景		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>年度途中からの事業であり時間的な制約がある中で、充実した提案書を工事工程に間に合う時期に提示し、八百八橋の移設、周辺工事を終了させることができた。年度末には、極力費用をかけずに、メンバーと行政職員参加で敷石敷設・植込作業なども実施することもできた点は協働推進事業として評価できる。工事後は、移設された石ベンチに座り中庭を見ながら休んでいる方や食事をしている方も多く、憩いの場としても利用される場所になりつつあると実感している。</p> <p>また、単年度で終了させない継続的な取り組み内容についても検討し、八百八橋周辺の管理運営やイベント実施の可能性を協議した点も評価できる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	新たな課題や抽出された問題などを含め長期的展望を視野に入れて、まちづくり推進委員会の新たなプロジェクトとして取り組んでいく。	

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 2 2 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 1 0	歴史と緑の散策コース案内板設置事業	継続	平成 2 0 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区 民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・ 事業内容		
目的及び 内容	平成 1 8 年度の協働推進事業でなかはら 2 0 年構想委員会が作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の完成に合わせ、区の魅力である名所や史跡を効果的に区民や駅の利用者に伝えていくために、区内の駅に散策マップに記載した散策コースを中心とした案内版を設置する。			
予算額	1,196,000 (円)	決算額	990,150 (円)	不用額 205,850 (円)
不用の理由	単独の自立式案内版ではなく、壁に貼り付ける案内版に変更し安価となったため。			
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>横須賀線武蔵小杉駅設置の案内版</p> <p>平成 2 0 年度、平成 2 1 年度に設置した区内 6 箇所の駅に続き、平成 2 2 年度は横須賀線武蔵小杉駅に設置した。また、平成 1 9 年度設置した平間駅案内板、平成 2 0 年度に設置した向河原駅案内版の掲載情報の更新作業を併せて行った。</p> <p>設置にあたっては、散策マップの作成に寄与したなかはら 2 0 年構想委員会と調整、確認を行い、また、J R 東日本との交渉も並行して行った。その結果、横須賀線武蔵小杉駅改札口近くの人目につきやすい場所に案内版を設置することができた。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区民に人気のある「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用し、さらに区の魅力を効果的に伝えていく手段として案内版を設置したことは有意義である。</p> <p>地元の人だけでなく、電車から降りた人など多くの人にもコースを伝え、実際に歩いてもらうことを目指して駅に設置したことは、区の魅力発信に一層貢献したと考えられる。また、再開発で住民が増えている中で、マップと看板の両方で中原区の魅力ある資源を知らしめることは重要である。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	中原区内の主要な駅への案内板の設置は終了する予定であるが、平成 23 年度には「歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業」と名称を変更し、案内板を活用したまち歩き等を実施し、中原の魅力を一層発信していく。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない


区民会議からの主な意見

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 1	まちづくり推進実践活動支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・事業内容			
目的及び 内容	区づくり白書「もっとすてきになかはら」の実現のために、地域からの推薦・公募による委員により組織された委員会が、2つの部会（課題発見・解決部会、支援・広報部会）を通して地域の課題に対して取組む実践活動を支援することを目的としている。また、区民交流センター「なかはらっぱ」の管理・運営の協定先として、区内諸団体の中間支援組織としての活動に対して事務的な援助を行うことを目的としている。 活動に際しては、より効果的・実践的な展開を狙い、広報物のデザインや運営に関する助言を専門家に依頼する。					
予算額	1,720,000(円)	決算額	1,640,658(円)	不用額	79,342(円)	
不用の理由						
結果・成果	<div>【事業実施状況・成果物などの写真等】</div> <div></div> <div>(マナー・モラルアップポスター展)</div>		課題発見・解決部会にてまちなかのマナーモラルの向上をめざして活動する「マナー・モラルアップ」、武蔵中原駅近くの地下道を安全で利用しやすい空間にする取り組み「中原地下道ギャラリー」、昔遊びを通じた世代間交流を図る「公園井戸端会議」、区役所内に八百八橋を設置する「プロジェクト808（新規）」を実施、支援・広報部会では、月1回団体間の交流を深める「まちづくりサロン」、「まちづくり通信」の年4回発行、ホームページ「ナプロコ」、区内の写真を使用して中原の魅力を紹介する「まちふぉと倶楽部」の各プロジェクトを実施。			
			実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>中原地下道ギャラリープロジェクトでは、22年度初めて企業（富士通）の協力を得ることができ、地域への浸透が感じられる。また、区役所敷地内に八百八橋の設置を行う新プロジェクトが立ちあがるなど、新たな課題への取り組みへの意欲もある。さらに、区内の魅力スポットをおさめた写真集の発行、まちづくり通信の発行など、活動の成果物の作成、PRするなど活動の幅も広く、評価が高い。</p> <p>しかしながら、一方でメンバーの固定化、プロジェクトの停滞なども見られるので、今後の展開に見直しが必要とされる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	継続事業については、ある程度の成果や結果を出してきており、新プロジェクトへの取り組みも予定されている。今後は、既存プロジェクトの精査を行い、既存プロジェクトの発展的解消、収束方法を検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 2	中原区イメージアップ推進事業	新規	平成 22 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら 20 年構想委員会 なかはら散策ガイドの会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業	
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（						

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>なかはらまちづくりフォーラムの開催は、区民のまちづくりへの参加意識を高め地域課題の解決にむけた取組を促すことができた。また、なかはら歴史と緑の散策マップの改訂版の作成や花回廊構想の推進は、区民が愛着を持てる魅力あふれる中原区へのイメージアップに貢献した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用したまち歩きを他の事業と連携して実施し、花回廊構想を推進するとともに、なかはらまちづくりフォーラムを区民の関心の高いテーマで開催して、課題解決への取組みから中原区のイメージアップにつなげる。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 3	自転車と共生するまちづくり事業	継続	平成 13 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（					

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>地域住民・企業・行政が協働する自転車と共生するまちづくり委員会の自転車利用のマナー向上への取組により、主な活動地域である武蔵小杉駅周辺の通勤時間帯の放置自転車は減少するなど、自転車利用者のマナーアップ効果が現れてきている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	武蔵小杉駅周辺での活動実績を踏まえ、武蔵小杉駅以外の駅にも活動範囲を広げる。周辺地域とも協働して区全体で自転車と共生するまちづくりを目指し、自転車マナーの啓発活動に取組む。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 4	区民交流センター運営事業	継続	平成 21 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	<p>中原区民交流センター なかはらっぱ (以下、「センター」という。) の管理・運営を区民と行政が協働で行うことで、中原区における市民の地域活動や地域コミュニティの拠点としての役割を促進させることを目的とする。</p> <p>中原区内を拠点とする地域団体 (町会・自治会等) や市民活動団体に対して、印刷機や会議スペースの貸し出しや、掲示板やホームページを利用した情報発信の支援を行うことにより、活動が活発に行われるようサポートをする。また、区役所 5 階に設置されている区民交流センター「なかはらっぱ」を、交流・憩いの場として各団体・一般区民に提供する。</p>			
予算額	2,805,000 (円)	決算額	2,295,141 (円)	不用額 509,859 (円)
不用の理由	窓口協力団体が当初計画より少なかったため、窓口謝礼予算が不用となった。			
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(区民交流センター窓口)</p> <p>22 年 4 月から、登録団体の協力による輪番制の窓口運営がスタート。16 団体の協力の下、週 3 回 (月・水・金) の窓口を開設している。利用者懇談会を 6 月と 11 月に実施。利用者同士の意見交換及び、センターへの要望、意見等を取りまとめることができた。大量印刷に適した印刷機の貸し出し、無料での会議スペースの提供、また、ホームページ「中原区民交流センター web なかはらっぱ」を運営。団体の情報、イベント情報を収集・発信することができた。 (なかはらっぱ登録団体：207 団体)</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>22 年度から区民交流センターの窓口が、区民 (登録団体) のボランティアによる輪番制へと移行し、スムーズな運営が行われている。中原区における市民活動拠点が行政と区民団体が協働で事業展開できているという面で非常に大きな意義がある。また、センターは、区民が市民活動を推進する場、区民が気軽に集える場として、積極的に活用されているとともに、印刷機や会議スペースの利用について、区民団体にとって自前での確保が難しく、こうした環境を提供することは区内の地域活動・市民活動の活性化に大きく寄与していると言える。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	懇談会の開催など、随時区民の声を聴取し、会議室・フリースペースの備品の配置・レイアウト等を見直し、開放的で、よりニーズに応えられる施設としていく。現在週 3 回展開している団体による窓口協力を拡大でき、登録団体が積極的に関わられるよう意識向上を図る。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない


区民会議からの主な意見

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 5	中原市民活動の集い開催事業	継続	平成 17 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原市民活動の集い実行委員会		対象者	市民活動団体、区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・事業内容			
目的及び 内容	中原市民活動の集い（なかはらっぱ祭り）は、中原区役所 5 階の区民交流センター（なかはらっぱ）に登録している市民活動団体に普段の活動を発表する場を提供するとともに、来場者との交流や参加団体同士の交流を図ることを目的に開催する。					
予算額	5 8 1 , 0 0 0 （円）		決算額	5 8 0 , 4 9 6 （円）		不用額 5 0 4 （円）
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 			区民交流センター「なかはらっぱ」登録団体による実行委員会を立ち上げ、メインテーマを「なかはらっぱに集まろう」として、多様な分野で活躍する参加団体の視点から集いの企画や広報（チラシ等）を作り、当日の運営まで成し遂げた。 集い前日には、参加団体同士がお互いの企画を紹介し合い、相互に交流をはかるとともに、当日は、多くの区民が来場し、企画に参加、体験することで、参加団体と来場者との交流も図ることができた。		
	(全体企画 寄せパネル)			実施時期 (開催日/回数等)	7月18日	参加 人数等 参加団体 37 来場者数 700 名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>なかはらっぱ祭りの開催により、普段市民活動に馴染みのない区民の方々に、気軽に市民活動に触れてもらう機会を創出し、参加団体と来場者との交流を図ることができた。</p> <p>また、なかはらっぱ登録団体により実行委員会を組織して、なかはらっぱ祭りを作り上げて行く過程で、参加団体相互の交流や理解を深めることが出来た。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	なかはらっぱ祭りの開催を通じて、来場者と中原区の市民活動団体、及び参加団体相互の交流を引き続き図るとともに、区民交流センター「なかはらっぱ」の存在についてもアピールする。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 22 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
6	区役所サービス向上事業	継続	平成 18 年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民（来庁者）	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	区役所を訪れる来庁者に対して、より質の高い窓口サービスが提供できる区役所を目指し、庁内の関係部署からなる「中原区サービス向上委員会」を設置。各課ごとに年間取組目標を策定し、窓口サービス改善等を実施するとともに、各課から推薦された「推進リーダー」により職員研修の実施、窓口環境の検討・改善を進めることで、区役所のサービス向上を図る。			
予算額	2,924,000円	決算額	2,492,600円	不用額 431,400円
不用の理由	職員研修を安価に実施したこと及び案内看板設置を見送ったことによる			
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>車椅子を利用されている方でも、座りながら申請や記入ができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス向上研修の実施 ・情報セキュリティ研修の実施 ・「外国人市民向けホームページサイト」の新設 ・外国人向けフロア案内（6カ国語）の改定 ・保健福祉サービス課の一部窓口のローカウンター化 ・記載台の配置変更及びホワイトボード案内版の設置 ・職場巡回による窓口環境改善提案 			
	実施時期 (開催日/回数等)	サービス向上研修 11月29日～12月15日 日のうち計9回	参加 人数等	270名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>研修については、「推進リーダー」を中心に、区役所職員の日々の業務や各窓口での接遇対応における顧客満足度向上を図るため、サービス向上研修を実施した。来年度以降も継続的なサービス向上が図れる研修内容の検討を行う。</p> <p>窓口環境関係については、外国人区民に対しても公平なサービスの提供が図れるように「外国人市民向けホームページサイト」を新設するとともに、6カ国語でのフロア案内を改定した。また、各課の取組では、記載台の配置変更やホワイトボード案内板の設置及び保健福祉サービス課の一部窓口のローカウンター化など、サービス向上への取組を各課ごとに目標を策定し実施した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「区役所サービス向上指針」に基づき、中原区役所サービス向上委員会を中心に、区役所サービスの向上に向けた、検討・取組を進める。	A

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成 2 2 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 7	中原区ホームページ事業	継続	平成 1 4 年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	<p>区の重要な広報手段の一つであるホームページを充実させ、区民などに最新の行政情報を提供し、ニーズに応えたページを作成することを目的とする。</p> <p>また、情報を発信する情報所管課職員を中心に、広報に対する意識を向上させ、主体的な広報活動才推進するために研修を実施する。更に、専門的知識を要する新規コンテンツの作成や既存コンテンツの再検討などを専門業者に委託する。</p>			
予算額	5 9 7 , 0 0 0 (円)	決算額	5 9 6 , 0 3 5 (円)	不用額 9 6 5 (円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(中原区ホームページトップページ)</p> <p>年間を通じて区ホームページの運用保守を委託するとともに、8 月に区職員向けの広報力向上研修を実施し、2 3 名の職員が出席した。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年 (研修は 8 月)	参加 人数等	研修は 2 3 名

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>平成 2 1 年度に実施したホームページのリニューアルを行い情報体系の整理を行った。その体系に基づき、各情報所管課において、コンテンツの充実が図られた。</p> <p>また、市のコンテンツ管理システム (C M S) に対応するページとし、職員向けの研修を実施したことで、職員が容易にホームページへ情報を掲出できるようになった。</p> <p>中原区は、引き続き大規模開発などにより人口の増加が見られ、新規住民や転入予定者を始め、広く区民に積極的な情報発信を行うことは必要不可欠であり、その点において有効な事業だと考えられる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	インターネット上で区の情報発信をする基盤は整ってきているので、引き続き職員の広報マインドを高めながら、区民が必要とする情報のニーズを把握しながら、発信する情報の質的向上を目指していく。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 8	中原区市民提案型事業	継続	平成19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	企画課	対象者		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容	市民・こども局	
目的及び 内容	地域社会が抱える課題解決のための事業提案を市民から募集し、参加と協働によるまちづくりを推進することを目的に、市が策定した「協働型事業のルール」の概念に基づき、区役所を地域における協働の窓口として、地域における市民活動の支援を行う。			
予算額	3,554,000(円)	決算額	446,550(円)	不用額 3,107,450(円)
不用の理由	提案を受けた事業の予算が想定より低く実施されたため。			
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>「身近な魅力を写真で伝えて！コンテスト事業」優秀作</p> <p>22年度は、「のんびりゆったり親子で育つ事業」「身近な魅力を写真で伝えて！コンテスト事業」の2事業を実施した。</p> <p>「のんびりゆったり親子で育つ事業」では、幼児をもつ保護者が子育てや地域での支えあいについて学ぶ機会を提供し、子育てに関する悩みを共有する中で子育て中の保護者のネットワーク作りを行うことを目的に9回の講座を開催した。「身近な魅力を写真で伝えて！コンテスト事業」では、身近にある景色や生活風景を見直すきっかけを参加者が感じ、自分なりの「まちの魅力」を認識することにより、郷土意識や中原区への愛着につながっていくことを目的にコンテストを実施した(98点の応募、優秀作5点、入選作品9点)。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
市が推進する「市民と協働」を協働型事業のルールに基づき実施することは、市民自治の観点から重要である。また、地域の課題を地域特性や区民の目線から洗い出し、協働の手法により解決することは、区が実施する地域課題対応事業のモデルケースとしても重要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	事業の選定方法、協働の手法などを見直しの上、より効果的な事業の実施を目指す。事業提案型(区民が区民目線で地域の課題を発見し、行政と協働により解決を図る手法を提案するもの)、事業実施団体募集型(区民会議などから提案された地域課題の解決に向けた活動をする団体を募集するもの)の2つの方法で実施する。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 2 2 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 1	中原区協働推進事業一般経費	継続	平成 1 4 年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	企画課	対象者		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	協働推進事業の実施に必要な事務用品等の購入、複写品費、郵送などに経費の支出を行う。 また、区のシンボルマーク及び区の花パンジーのマークを区民に周知するため、同マーク入り封筒の製作を行う。			
予算額	1,053,000 (円)	決算額	973,006 (円)	不用額 79,994 (円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(写真などのキャプション)</p>	<p>資料送付等に使用する、区のシンボルマーク及び区の花マーク入りの封筒を 10,000 枚 (長 3:5,000 枚、各 2:5,000 枚) 作成 再生紙やフラットファイルなどの事務用品の購入。 複写品、郵送料への支出</p>		
		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区のシンボルマーク及び区の花マーク入り封筒は、区役所各課で使用され、同マークの P R に役立った。 各事業に使用する事務用品を購入することで、円滑な事業執行に寄与した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	地域課題対応事業の執行に必要な、事務用品費、複写品費、郵送料を引き続き調達する必要があるため、次年度以降も現状どおり事業を実行する。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 2 2 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
- 2	緊急対応経費	継続		企画課

1 事業概要

事業実施主体	-	対象者	-	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び 内容	区民要望等緊急対応が必要となる状況に対応する経費			
予算額	1,971,000 (円)	決算額	0 (円)	不用額 1,971,000 (円)
不用の理由	緊急性の高い事業を優先して実施していった結果、不用が生じた。			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	当初予算を使用し、次の事業を実施した。 ・ - 1 0 安心子育てに向けた普及啓発事業 また、次の事業の緊急拡充分に充当した。 ・ - 3 案内サイン情報更新事業 ・ - 3 なかはらパンジー体操事業 ・ - 2 中原区 S T O P ! ヒートアイランド事業 ・ - 2 中原区イメージアップ推進事業 ・ - 6 区役所サービス向上事業		
		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
緊急対応が必要な事業を実施し、安全安心のまちづくりや、魅力ある区づくりの推進をすることができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		C

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--